

協働通心

令和6年11月
第2号
発行元
草津市教育委員会
生涯学習課

『協働通心』は、地域協働合校（小・中学校や地域で、社会の変化に対応するために、子どもと大人が世代を超えて知恵を出し合い、学び合い、協力して共に活動する取組）の活動状況を、広く市民の皆さんにお知らせする情報紙です。
今回は、草津第二小学校と松原中学校の取組みについてお知らせします！



草津第二小学校「お店体験 ～お店の仕事を体験して、はたらくことについて考えよう～」

草津第二小学校では、3年生を対象に総合的な学習の一環として、学校の近くの商店街等のお店の見学や体験を行っています。

10月22日～24日の3日間で学級ごとに数人ずつのグループ(13箇所の商業施設)に分かれ、担当の教員や保護者ボランティアによる見守りのもと、お店の中の見学、仕事の体験を行いました。

児童たちは皆、積極的に折り紙でお店の掲示を作ったり、困っているお客様にお声かけをする等、お店の方に指示を受ける前に自ら行動していました。

普段はできない貴重なお店体験を通じて、実際に店員として働くことで、仕事に対する想いや商品を売るための工夫について学ぶことができました。



松原中学校【G-GRIT 学習×家庭科】（教科横断型授業実践） 笠縫こども園の園児が松原ファームへ！

松原中学校3年生は、保育体験の一環として、園児とともに校舎内にある農場「松原ファーム」において、農業体験を行いました。

生徒と園児はともに自己紹介と手遊びをして打ち解け合った後、生徒が作成したタブレット紙芝居で春大根の栽培方法を説明し、農場で種を植えて水やりを行いました。園児たちは大きなお兄さんやお姉さんに教えてもらいながら、普段食べている大根の育て方を実践形式で知ることができ、楽しく体験ができたようでした。

また、生徒たちは事前に保育について学習した後、実際に園児に接することで、小さな子どもとの関わり方を体験したり、将来のイメージを具体的に考えるきっかけを持つことができました。

代表の生徒は園児たちに「大根が育ったら一緒に収穫しようね」と園児たちに呼びかけていました。収穫するまでの大根の成長過程をタブレットで撮影し、園児たちに見てもらう予定です。

今後の生徒と園児の活動のつながりも楽しみです。

